

# 平成27年度一般会計補正予算(第2号・3号)を可決

## 4月豪雨・台風11号等の災害復旧 マイナンバー関連事務費 災害対応型給油所整備など

### 災害復旧

**Q** 早急な対応が必要な道路災害2件とは。

**A** 4月の豪雨による道路災害で、市道岡ノ内百尾線と大西線はその後の雨で増破が見込まれるため、早急に発注したい。

### マイナンバー再交付手数料とは

**Q** マイナンバーカード再交付手数料が計上されているが、まだ交付されていないのは。また2万円の積算根拠は。

**A** 法改正の10月5日以降通知カードが送付され、すぐに再発行という場合があるので計上している。

通知カード再発行の手数料は500円で24件見込んでいる。個人番号カードは、10件を見込んでいる。

### 香美市個人情報保護条例の一部改正

**Q** マイナンバー施行に伴うものだが、本条

例を改正しなかった場合、マイナンバー運用に支障が出るのか。

**A** 改正されなければ、マイナンバーの入った個人情報が入ったものの運用になるので、それを特別に制限する必要があるので改正する。

### 次世代施設園芸モデル事業費補助金減額

**Q** この事業費1億3799万円の減額理由は。

**A** 圃場整備の地域内において、次世代型のハウスを計画したが、周辺との折り合いがつかず、用地確保が困難になったため。

### 災害対応型の給油所

**Q** 災害対応型の給油所整備はどこへ設置するのか。

**A** 現在営業している給油所が災害時、停電が発生した場合にも継続して燃料が供給できるようにするため、自家発電設備の整備に

対して補助するもの。土佐山田町で1事業所が予定している。

### 上葦生地域のマップ作成

**Q** 物部上葦生地域マップを作成するとのことだが、活用方法は。

**A** 地域支援員が作成して、香美市の移住促進や観光に向けた宣伝広告のために使う。昨年檜山地域でつくり、大変好評を得た。

### 戸籍住民基本台帳費の備品購入は

**Q** 総務費で備品購入費、マイナンバーカード等への印字システム購入に292万円計上されている。この備品購入費は国から補填があるのか。一般会計からの持ち出しか。

**A** カードへの印字は手書きでも良いことになっており、国から購入費は補填されない。手書きで書けるスペースはないので、購入する。

財源は一般財源である。

### 木質資源利用促進事業費補助金

**Q** 木質資源利用促進事業費補助金の使途、内容は。

**A** 木質バイオマスの発電施設へ未利用材の運搬車を購入する。地方創生先行型の上乗せ交付金である。

### 香美市の財政健全度は？

国の示す基準で、香美市の財政が健全であるかどうかを毎年、決算時にチェックします。基準は、**実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率**の4項目です。平成26年度の結果は、**全部の指標が健全化比率をクリアしており、問題ありません。**(下表のとおり)

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (13.31)	— (18.31)	10.3 (25.0)	— (350.0)
実質黒字比率 9.06	連結実質黒字比率 12.27		

( ) 内は国の示す指標 ~早期健全化比率



# 平成27年度補正予算第4号を可決 平成26年度決算の認定は継続審査

(補正予算・第4号)

★ 「ピースフルセレネ及び日ノ御子河川公園キャンプ場」の管理運営者を公募するための補正予算が提案され可決されました。

※ ピースフルセレネの運営については、かねてより、さまざまな意見があり、経営分析の結果、**指定管理者を公募**することになりました。「レストラン部門の指定管理者による直営化」、「ホテルの定休日を全廃」、「パッケージ商品の企画」など営業戦略をもって経営にあたる必要があります。安定的な雇用の確保につながるよう指定期間を5年とします。



ピースフルセレネ



日ノ御子キャンプ場

### 項目別の補正額と合計額

歳入	当初予算	補正額	計
1. 市税	2,399,528	0	2,399,528
2. 地方譲与税	128,203	0	128,203
3. 利子割交付金	6,222	0	6,222
4. 配当割交付金	18,141	0	18,141
5. 株式等譲渡所得割交付金	10,185	0	10,185
6. 地方消費税交付金	470,247	0	470,247
7. ゴルフ場利用税交付金	16,088	0	16,088
8. 自動車所得税交付金	11,952	0	11,952
9. 地方特例交付金	7,094	509	7,603
10. 地方交付税	6,850,000	0	6,850,000
11. 交通安全対策特別交付金	4,350	0	4,350
12. 分担金及び負担金	63,016	3,800	66,816
13. 使用料及び手数料	349,959	588,344	938,303
14. 国庫支出金	2,138,393	127,633	2,266,026
15. 県支出金	1,655,369	▲ 51,484	1,603,885
16. 財産収入	37,385	201	37,586
17. 寄付金	21,001	0	21,001
18. 繰入金	1,065,248	▲ 273,368	791,880
19. 繰越金	2,000	457,969	459,969
20. 諸収入	276,401	2,756	279,157
21. 市債	2,168,218	252,980	2,421,198
計	17,699,000	1,109,340	18,808,340

歳出	当初予算	補正額	計
1. 議会費	167,109	0	167,109
2. 総務費	2,560,105	32,491	2,592,596
3. 民生費	5,323,613	619,047	5,942,660
4. 衛生費	1,288,345	17,207	1,305,552
5. 労働費	1	0	1
6. 農林水産業費	1,214,673	▲ 50,662	1,164,011
7. 商工費	181,447	2,680	184,127
8. 土木費	1,347,284	60,537	1,407,821
9. 消防費	1,410,282	9,851	1,420,133
10. 教育費	1,826,385	79,142	1,905,527
11. 災害復旧費	91,120	338,846	429,966
12. 公債費	2,052,212	0	2,052,212
13. 諸支出金	206,424	201	206,625
14. 予備費	30,000	0	30,000
計	17,699,000	1,109,340	18,808,340

(単位：千円)



(平成26年度決算)

★平成26年度の決算議案が議会に上程されましたが、継続審査となりました。